

次号予告

2026 年 10 月・増大号(70 巻 10 号)

悩みに答える検査血液学 ひとつ屋根の下の検査と診療をめざして。

●定価：5,500 円(本体 5,000 円+税 10%)

2022 年 10 月・増大号(66 巻 10 号)『検査血液学レッスン 検査結果の乖離をどう判断するか』は好評をいただきました。約 4 年が経った今、アップデート版となる増大号を発行します。わずか 4 年の間でも AI やデータサイエンスの社会実装の勢いは目まぐるしく、臨床検査の領域も例外ではありません。医療 DX に代表される“ドライの時代”に入った感があります。

しかし、検査は生体試料というウェットからデータというドライへの変換作業であることを踏まえると、ドライを支えるのはあくまでウェットな検査プロセスです。そのウェットにはさまざまな“悩ましさ”が存在します。単純な定量値として扱うことのできない血球形態検査や、標準化・精度管理が困難なフローサイトメトリー検査や凝固関連検査に代表されるように、検査血液学には特有の悩ましさがあります。結果の乖離をはじめ、検査の運用と解釈における種々の悩ましさの解決を現場で図ることは、医療 DX 時代の検査血液学の実践の鍵となります。

本増大号は、2022 年 10 月・増大号のタイトルになった「レッスン」を超えて、より能動的かつ実践的に“悩ましさ”に取り組む 1 冊とします。ご期待ください。

CONTENTS

- 1 章 血算
- 2 章 血球形態
- 3 章 フローサイトメトリー
- 4 章 凝固

*内容については変更になる可能性があります。